

外来樹木伐採イベント実施状況

外来樹木伐採イベントの実施状況

1) 開催概要

項目		内容	備考
発案者・責任者		堂本委員長（維持管理・環境管理専門委員会）	委員会主催第41回協議会で承認
企画	日時	2月9日（火） 10:00～12:00	
	名称	「自然再生地での外来種の樹木伐採にご協力ください」	
	目的	・整備地に繁茂する外来樹木の抑制方法を試験する。 ・維持管理に要する労力の算定根拠とし、組織体制・資金確保に関する検討の材料とする。 ・協議会の外部からの参加者の拡大機会とする。	
	内容	・モトクロス場跡地整備地Dのシンジュを伐採 ・モトクロス場跡地整備地Aのハリエンジュを伐採	
	場所	上池の整備地（旧流路・モトクロス場跡地）	
	人数	20名（協議会委員9名・外部参加者11名）	チラシ、HP等で広報
収支	収入	2,000円	参加費は保険代として100円/人
	支出	1,000円	保険代50円/人×20人で申し込み
	計	+1,000円	これまでの年間の赤字3,548円に補填 ⇒ 赤字額は2,548円（川島委員長立て替え中）

外来樹木伐採イベントの実施状況

1) 開催概要

実施場所



外来樹木伐採イベントの実施状況

2) 振り返り事項

視点	区分	状況	今後の方向性
イベントとして	良かった点	協議会の外部の方の参加があった。（桶川市商工会青年部の参加等）	今後も同様のイベントを企画するとともに、参加を促したい対象者を検討して、直接の声かけにより参加呼びかけを行う。
	反省点	協議会の関係者・外部の方とも参加申請が不明瞭で、事前の想定と実際の参加者数に乖離があったため、作業場所とスケジュールは当日の集合時の判断・確定となった。	参加申し込みは、協議会委員も含めて、期日までに明確に行う。
		イベントの進行イメージ（作業段取りや使用道具等）がスタッフ間で共有されていない部分があった。	- 運営に関わるスタッフについては、進行について事前の打合せを十分に行う。 - 決定事項については十分確認・尊重し、これと異なる提案がある場合には、修正が可能な時点までに企画責任者と事前に協議・調整を行う。
		ハリエンジュについては、トゲがあるためケガのリスクがあった。また、倒木時に安全のための声かけが不十分であり、危険な場面があった。	- ハリエンジュの伐採を行う場合は、ある程度の経験のある方を対象として限定する。 - 作業前の注意喚起、作業中の安全管理について、事前の想定を十分行った上で、当日に担当者を設けて徹底する。
維持管理作業として	良かった点	整備地周辺で繁茂が懸念されていた外来樹木について、当該箇所では今回の作業で「地上部」は一掃できた。	地下部が残存しているため、少なくともH28には再び萌芽が多数発生すると想定されるため、これらの継続除去を行う。
	反省点	- 伐木の処分方法（集積場所等）を明確にしておいた方が良かった。 - 大きな伐採木については、チェーンソーなどを利用した方が良いとの意見があった。	- 実施場所や伐採対象種およびその量等に応じて、処分方法を明確にしておく。 - 安全性を確保した上で、伐採対象に応じた実施方法を検討する。